

様式 3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部 ・学科等 の名称	専任教員数							非常 勤教 員	専任教員 一人あた りの在籍 学生数	備考	
	教授	准教 授	講師	助教	計	基準 数	うち 理学 療法 士又 は作 業療 法士 数				助手
人間健康 科学科・ 先端リハビ リテーション科 学コース・ 先端理学 療法学講 座	4人	3人	1人	4人	12人	6人	8人	0人	34人	4.9人	
計	4人	3人	1人	4人	12人	6人	8人	0人	34人	—	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授で きる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の 知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以 上の知識を有する教員が担当している。	3

	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼 任)
基礎	科学的思考の基盤	自然科学科目群	75	杉本 直三、他	兼任
		情報科目群、 健康・スポーツ科学 科目群、キャリア 形成科目群、 統合科学科目 群	75	山田 重人、他	専任/兼任
		その他	60	Todd Pataky、他	専任/兼任
	人間と生活	外国語科目群	120	林 美穂子、他	専任/兼任
		情報科目群、 健康・スポーツ科学 科目群、キャリア 形成科目群、 統合科学科目 群	75	山田 重人、他	専任/兼任
		その他	60	Todd Pataky、他	専任/兼任
	社会の理解	人文・社会科 目群	75	松枝 啓至、他	兼任

		情報科目群、健康・スポーツ科学科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群	75	山田 重人、他	専任/兼任
		その他	60	Todd Pataky、他	専任/兼任
専門基礎	人体の構造と機能および心身の発達	解剖学	15	山田 重人、他	専任/兼任
		運動機能解剖学	15	山田 重人、他	専任/兼任
		肉眼解剖学Ⅰ	15	山田 重人、他	専任/兼任
		肉眼解剖学Ⅱ	15	山田 重人、他	専任/兼任
		生理学Ⅰ	15	緑川 光春、他	兼任
		生理学Ⅱ	15	緑川 光春、他	兼任
		生理学実習	15	緑川 光春、他	兼任
		基礎運動学	8	市橋 則明、他	専任/兼任
		生体防御学	15	錦織 桃子、他	兼任
		生化学概論	8	野中 元裕、他	兼任
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学概論	15	高桑 徹也	兼任
		薬剤・薬理学概論	8	野中 元裕、他	兼任
		公衆衛生学Ⅰ	8	青山 朋樹、他	専任/兼任
		臨床疾病論A	8	澤本 伸克、他	兼任
		臨床疾病論B	8	藤井 康友、他	兼任
		臨床疾病論C	8	木下 彩栄、他	兼任
		臨床疾病論D	8	錦織 桃子、他	兼任
		臨床疾病論E	8	青山 朋樹	専任/兼任
		臨床疾病論F	8	義村 さや香、他	兼任
		臨床疾病論G	8	錦織 桃子、他	兼任
		整形外科各論	8	青山 朋樹	専任/兼任
		精神医学各論	8	義村 さや香、他	兼任
		医療統計学	8	笹山 哲	兼任
iPS 再生医療学概論	8	澤本 伸克、他	専任/兼任		
高齢者理学療法学	15	建内 宏重	専任/兼任		

	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	人間健康科学 I・III	15	稲富 宏之、他	専任/兼任
		人間健康科学 II・IV	30	若村 智子、他	専任/兼任
		臨床コミュニケーション論 I	8	林 美穂子、他	専任/兼任
		入門理学療法・作業療法	8	山口 智史、他	専任/兼任
専門	基礎理学療法学	肉眼解剖学III	15	山田 重人、他	専任
		卒業研究	90	市橋 則明、他	専任
	理学療法管理学	医療倫理・生命倫理概論	8	嶋田 和貴	兼任
		医療管理・医療安全概論	8	中村 光宏、他	兼任
	理学療法評価学	リハビリテーション評価学総論	15	建内 宏重、他	専任/兼任
		運動機能評価学実習	15	建内 宏重、他	専任/兼任
		画像評価学	8	青山 朋樹、他	専任
		理学療法評価学実習	15	建内 宏重	専任
		研究方法演習	30	建内 宏重、他	専任/兼任
	理学療法治療学	臨床研究・臨床開発概論	8	福間 真悟、他	兼任
		ビッグデータ医学総論	8	奥野 恭史、他	兼任
		義肢装具学概論	8	青山 朋樹、他	専任/兼任
		装具学	8	島 浩人、他	専任/兼任
		内部障害リハビリテーション学	8	林 和寛、他	専任/兼任
		呼吸リハビリテーション学	8	林 和寛、他	専任/兼任
		内部障害理学療法学	8	林 和寛、他	専任/兼任
		臨床運動学	8	市橋 則明、他	専任
		臨床運動機能学	8	伊藤 浩充、他	専任/兼任

		運動器リハビリテーション学Ⅰ	8	青山 朋樹	専任
		運動器リハビリテーション学Ⅱ	8	市橋 則明、他	専任/兼任
		精神・認知機能リハビリテーション学	8	稲富 宏之、他	兼任
		運動器理学療法学実習	15	市橋 則明、他	専任/兼任
		神経系リハビリテーション学	8	梁 楠、他	専任/兼任
		神経系理学療法学	15	山口 智史	専任
		神経系理学療法学実習	15	山口 智史	専任
		発達障害系リハビリテーション学	8	伊藤 明良、他	専任/兼任
		物理療法学	15	伊藤 明良	専任
	地域理学療法学	日常生活援助学	8	田畑 阿美、他	専任/兼任
		日常生活援助学実習	15	田畑 阿美、他	専任/兼任
		地域リハビリテーション学	8	入江 啓輔、他	兼任
	臨床実習	人間健康科学Ⅴ	45	梁 楠、他	専任/兼任
		地域臨床実習	23	市橋 則明、他	専任
		発展臨床実習	45	市橋 則明、他	専任
		臨床評価実習Ⅰ	23	市橋 則明、他	専任
		臨床評価実習Ⅱ	23	市橋 則明、他	専任
		臨床実習Ⅰ	135	市橋 則明、他	専任
		臨床実習Ⅱ	180	市橋 則明、他	専任

【自己評価 2-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2

	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1
--	---	---

【自己評価 2-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
車いす実習、病院環境に身を置く実習	1年前期	人間健康科学V	1年前期
模擬患者による理学療法評価実習	3年後期	臨床評価実習 I	3年後期
大学附属病院での理学療法評価実習	3年後期	臨床評価実習 II	3年後期
実習指導者の評価・治療の見学・模倣、実習指導者監督下での実施	3年後期	臨床実習 I	3年後期
訪問・通所リハ施設の見学・体験実習	3年後期	地域臨床実習	3年後期

実習指導者の評価・治療の見学・模倣、実習指導者監督下での実施	4年前期	臨床実習Ⅱ	4年前期
臨床実習での経験を踏まえてより専門的・発展的な実習を行う	4年通年	発展臨床実習	4年通年

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	自己点検・評価委員会
委員名（委員長）	建内宏重
組織の開催頻度	1年に一度

組織の取り組み内容	・ 自己点検・評価の実施
	・ 学生による授業評価の実施とフィードバック（教務・教育委員会）
	・ 教育改善の研修会の開催（教務・教育委員会）
自己点検・評価結果の公表	HP で公表（URL：https://ptot.med.kyoto-u.ac.jp/）

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	教務・教育委員会
	委員構成等	人間健康科学科各コースの教務委員および人間健康科学科教務掛
	改善の仕組みの実際	年度末に全シラバスを教務・教育委員会で確認し適宜修正を指示

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

自己点検・評価の結果を教員全体に周知し、教育内容のさらなる改善に引き続き努める。
--